

## 委員会等の会議録

1 会議名	第1回愛南町学校統廃合検討委員会	
2 議題	(1) 愛南町学校統廃合検討委員会の趣旨説明について (2) 委員長及び副委員長の選出について (3) 愛南町学校統廃合検討委員会の進め方について (4) 学校の現状について (5) その他	
3 開催日時	令和2年11月27日(金) 19時00分から20時40分まで	
4 開催場所	愛南町役場本庁3階 大会議室	
5 傍聴者数	※非公開会議	
出席者		
6 委員	出席 16名 欠席 4名	
7 担当所属	所属名	学校教育課
	担当職員 (職・氏名)	教育長 中村 維伯 課長 岩井 正一 課長補佐 近田 幸信 係長 本多 大輔
8 その他の出席者	所属名	
	出席職員 (職・氏名)	町長 清水 雅文
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
近田課長補佐	<p>定刻となりましたので、ただ今から第1回愛南町学校統廃合検討委員会を開会します。私は、本日の進行を務めます愛南町教育委員会学校教育課の近田と申します。どうぞよろしくお願ひします。それでは、開会挨拶を清水町長が申し上げます。</p>
清水町長	<p>皆さんこんばんは。開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。本日は、皆様方大変お疲れのところ、また、こういった遅い時間帯にもかかわらず御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、平素より町政に対しまして格段の御理解と御協力をいただいておりますこと、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。また、この度は委員の職を快く御承諾いただきましたこと、重ねて感謝申し上げます。さて、本委員会では、児童生徒数の減少が急激に進んでいく中で、今後、愛南町の小中学校をどのような体制で運用していくかということが大きな課題となっております。子供たちの健全育成を図っていく上で、町内の各界から代表する皆さんの御意見を集約をしていただきまして、これからの学校教育の在り方を考えていきたいというように思っておりますので、皆さんの御提言をいただきたいと考えております。御存じのように、愛南町は平成16年の合併時には小中合わせて29校ありました。それが、今現在では17校となっております。この傾向は、これからますます続いていくのではないかと考えております。何分にも、少子高齢化の波は如何ともし難いという現状が全国的には起こっているわけですが、ここ愛南町にとっても、急激にそういった傾向が続いていますので、大変危惧しているところでございます。最近の出生数が毎年100名を下回るというような状態が続いております。当然ながら、児童生徒数の減少も止まりません。本町には、国の示す標準、規模に該当する学校は、現在のところありません。極小規模校といわれる学校が大変多くあります。そのために、個々に応じた学習は充実はいたしますけれど、文科省が重要視するグループ学習など、未来社会に対応する力を育成する上では、厳しい環境にあると言わざるを得ません。私は、愛南町の子供たちが大人になって、また愛南町に帰りたいと思える町づくりをしてきたつもりであります。そのための教育環境の整備には、どうしても、皆さんの力が必要であります。教育には金は惜しまないという基本姿勢で今日まで臨んできたつもりでございます。その強い思い</p>

	<p>は、これからも変えてはいけないと思っております。これから学校教育につきましても、ソフト、ハード両面についても、なお一層の充実を図っていきたいと考えておりますので、皆様方の御理解と御支援御協力をお願いしたいと思っております。皆様方には、愛南町の将来を見据えて、様々な角度から子供たちの健全育成につながる学校体制を検討していただきまして、答申をいただけたらと思っております。終わりになりますが、本日参集の皆様方の御健勝と更なる御活躍を心より祈念いたしまして、開会の御挨拶とさせていただきます。今日は本日どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>(清水町長退席)</p>
近田課長補佐	<p>始めに、この学校統廃合検討委員会の会議は、委員の皆さんの率直な御意見を出していただけるよう非公開会議とします。また、会議録の公開もしませんので、忌憚のない御意見をお聞かせいただければと思います。会議の内容につきましては、ほかに漏らさないよう守秘義務でお願いします。</p> <p>(マイクの使用について説明)</p> <p>(配付資料の確認)</p> <p>それでは、最初の会ですので、本日御出席の皆様にご自己紹介をお願いしたいと思います。</p>
出席者全員	<p>(自己紹介)</p>
近田課長補佐	<p>ありがとうございました。それでは、協議事項に移ります。次第の(1)愛南町学校統廃合検討委員会の趣旨説明について、中村教育長が御説明します。</p>
中村教育長	<p>(諮問書の内容、前回の統廃合計画から現状までの推移、昨年度の学校運営協議会での意見聴取、本委員会での具体的な検討内容等を説明)</p>
近田課長補佐	<p>説明が終わりました。何か御質問や御意見などはないでしょうか。</p>
委員全員	<p>(意見なし)</p>

近田課長補佐	何か気づいたこと等がありましたら、その他で御意見をいただけたらと思います。それでは続いて、次第の(2)委員長及び副委員長の選出について、中村教育長お願いします。
中村教育長	はい。委員長副委員長の選出ということで、突然振られてもなかなか手を挙げるのも難しいと思います。事務局でいろいろ事前に調整をさせていただきましたので、よろしければ事務局案を発表させていただければと思いますが、よろしいでしょうか。
委員全員	(賛成)
近田課長補佐	事務局案を申し上げます。委員長に〇〇さん、副委員長に〇〇さんです。御審議のほどよろしくお願いします。
中村教育長	事務局から委員長に〇〇さん、そして副委員長に〇〇さんという案が出ました。御承認いただける方は、拍手をもってお願いします。
委員全員	(賛成)
近田課長補佐	ありがとうございます。それではお二人、前の席にお願いします。では〇〇委員長、〇〇副委員長、一言御挨拶をお願いします。
委員長	(挨拶)
副委員長	(挨拶)
近田課長補佐	ありがとうございました。ここからの議事進行につきましては、委員長をお願いします。
委員長	それでは、次第の(3)愛南町学校統廃合検討委員会の進め方について、(4)学校の現状について、同時に岩井学校教育課長が御説明します。
岩井課長	(本委員会の進め方、学校統廃合のこれまでの流れ、学校の適正規模等の考え方を説明)

委員長	説明が終わりました。何か御質問、御意見などはありますか。
委員全員	(意見なし)
委員長	なければ、続いて次第(5)のその他に移ります。その他として何かございませんか。初回の会議ですので、現状での御意見をいただければと思います。
委員	私、こういう会議は初めてです。地域の行政協力員という肩書で呼ばれているのだと思いますが、いろいろと意見を述べるに当たって、当然私の地元の小学校のこともあるので、私だけの個人的な意見が良いのでしょうか。個人でここに出席したのであれば、どんどん意見を述べられるのですが、立場的には、それぞれの地域の方々にもある程度早めにお知らせしていただいて、そういった中の意見を集約してもらう必要があるのかなと思っているのですが、いかがでしょうか。
中村教育長	御意見ありがとうございます。私の挨拶でも地域と学校がずっと築いてきた関係という話をさせていただきましたし、町長からも当然そういう話をさせていただきました。学校は地域の宝であると言われますけれど、逆に学校からしても地域はなくてはならないものということで、地域の方の意見は大切です。令和元年度にそれぞれの小中学校の学校運営協議会に回っていったときに、教育委員会として重要視させていただきたいのは、保護者の意見をまずは優先させていただきたいということでお願いをしてまいりました。子供たちの将来を最後まで責任を持つのはもちろん保護者ということですので、やはり保護者にとって学校がどうあるべきかということを優先したいと思います。地域の意見を聞くというのは、現時点でどういう聞き方をするかまだお答えはできませんが、優先順位としては、やはりまずは保護者の意見を優先させていただいたらと思っております。
委員	保護者の方には、大体いつ頃方針をお示しする予定になっていますか。

<p>中村教育長</p>	<p>最初に少し説明をさせていただいたのですが、教育委員会として、やはり今のままの学校体制では厳しいという認識の下に、どういう学校体制が良いかということをお話ししてまいりました。各界各層の様々な御意見をいただいた中で計画を立てたいということで、今回、各代表関係の方など、愛南町内でそういう特に子供に様々な形で支援をしていただいている方に集まっていたいただきました。ここで出していただいた意見を、まずは答申として教育委員会に出していただいて、教育委員会の中でもう一度計画としてもそのままやるべきか、それとも場合によっては少し変更を加えていくべきか協議をして、最終的には学校の設置者である町長が1番の責任者ということですので、町長との総合教育会議で話をして、こういう方向で今から動いていきますという計画を策定した上で、保護者、地域に説明をしていきたいと考えています。先ほど岩井からも少しお話をしましたが、発表の仕方をどうするかは、前回の統廃合計画でマスコミ関係に優先的に発表という形になってしまったので、地域や、特に保護者の方などから「それは順序が違うのではないか」という話も出ましたので、その辺は、この会の中でもいろいろ協議をして、その発表の仕方をどうしていくか考えたいと思います。保護者や地域にどうしてもこの分野の意見を聞きたいということが会の中で出れば、それについて協議をして、場合によっては聞きに行くこともあるかもしれませんが、途中の段階で話を随時出していくと、おそらくなかなか話が進まないのので、できるだけこの中で煮詰めた上で、最終的に教育委員会に答申し、教育委員会が町長に総合教育会議で話をして、計画として決定した上で、一斉に保護者、地域に説明にうかがうというふうに考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>私は〇〇出身なのですが、〇〇小学校が今〇〇名しかおりません。学校運営協議会を、何か月かに一度ずつやっているのですが、地域の人もいつかは統合されるのではないかと感じています。小学校1年生になる子が、〇〇と同じ近くの友達がほしいので、そちらの方の学校に行くのではないかと心配しています。地域は、やはり小学校があるなしでいろいろな行事が変わってきます。できれば長く置いていただきたいのですが、皆の意見は、いつか近い将来に統合されるのではないかという意見がやはり多いようです。私たちが思うのは、地域のことを考えればできるだけ置いていただきたいということです。地元のPTA</p>

<p>委員</p>	<p>からやむを得ないという意見が出るまで置いていただきたいということが、本音でございます。</p> <p>私は〇〇地区に住んでいます。〇〇小学校が〇年ほど前になくなりました。ただ、そこで地域が力を発揮することが大切だと思います。学校にも協力をお願いして、地域に楽しみを一つでも作っていくことが大事だと思っています。確かに、中心は保護者、子供を育ててる親だと思いますので、どうしても子供に重点を置いて考えると、2年後とか3年後には誰も(学校に)入ってこないという状況になったとき、子供の教育のことを考えると、やはり大きな学校での大事な経験があると思うのですよね。(子供には)そういうことを経験させ、地域としてはそれを辛抱するしかないのかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>地域や保護者の方に統廃合が急に進んだという印象を持たれることは良くないと思います。先ほど教育長さんが学校運営協議会で意見を聴いたと言われていましたが、保護者にも「学校教育課や町はこういった統廃合を考えています」という意見を出し続けることが必要だと思います。各学校はとても良い取組をしていますが、こういった課題もあるのだというところを随時出していく方が良く考えます。</p>
<p>委員</p>	<p>保護者の立場でお話しさせていただきますと、学年に一人しかいないということが子供にとってどうなのかなと思います。同学年に、例えば自分だと男なので、男の友達がいるのといないのとでは大きく違います。同学年に二人だとしても、男の子と女の子しかいない状況は、子供たちにとって楽しい学校なのかということは、ここのメンバーだけでなく、学校にもそういうところを確認していただく必要があるのかなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>ほかに意見はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>文科省から基準的なものが出ていると思うのですが、これが全国一律ではないかと思うのですよ。しかし、生活の場は大都市あり中都市あり小規模のところがあり、また、過疎地ありとかいろいろありますので、やはりそういうところを見ていながら、今後進めていっていただきたいと思います。文科省の数的なことを求めるのではないと思いますけれど、その辺のとこ</p>

<p>委員</p>	<p>ろも含めてお互いが意見を出していくべきではないかというように私は思っております。</p> <p>私は、小学校が〇〇小学校で、夫は〇〇小学校を卒業しました。私は小学校の途中から〇〇小学校に移りまして、夫婦ともに〇〇中学校を卒業しました。私の子供は〇〇保育所に通っていて、来年から〇〇小学校に通うことになると思いますが、地域の方たちの話を聞いていると、子供たちが小学校、中学校、高校、そして社会人になっていく上で地域でどのような教育ができるのかということが大事だと思いました。地域との関りもすごく大事だと思いますが、今コロナの影響で様々なことが変化している中で、オンライン授業を始め、様々なことに対応できる子供に育ててほしいなという思いが正直なところです。</p>
<p>岩井課長</p>	<p>〇〇委員さんから御意見をいただきましたが、文科省が出しているものはあくまで標準ですよということでございまして、特別の事情があるときにはこの限りではないですよという文面もございます。そういった中で、今、〇〇委員さんが言われたような意見も踏まえ、弾力的な考え方を持ちながら意見交換なども進めていただけたらと感じていますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>保育所の場合は統廃合の基準があったと思うのですが、小学校の場合は特にないと聞きました。小規模校なりに、子供たちをできるだけ楽しく勉強させて、寂しくない良い方向に進むよう一生懸命努力していると思います。できれば、ある程度の基準があった方が統廃合を進めやすいと思うのですが、今は基準がないのですよね。</p>
<p>岩井課長</p>	<p>先ほど御説明させていただいた資料3の中に、平成18年度当時の検討委員会で協議したときの望ましい学校規模がありますが、愛南町においてはこれくらいが望ましいのではないかというものが示されています。こういった基準的な部分も合わせて議論を交わしていただけたら考えています。事務局側が一方的に「何人から何人ですよ」というものではなくて、この中で是非意見を交わしながら、また、協議検討を進めていただけたらと事務局側では考えています。ありがとうございました。</p>



委員	<p>地元としては、ある程度基準があった方が検討しやすいと思うのですよ。何も基準がなく、10人、17人、15人とか数字を言われても、やはり地元としては(学校を)置いてもらいたいことが本心なのです。けれど、「実際何年後にはもう統廃合の検討をしてください」と地元の方へははっきり言う方がやりやすいのかなと思います。地元も考えると思いますので、是非この会で検討していきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
中村教育長	<p>はい、ありがとうございます。そういったお示しができるように是非皆さんのお知恵、御意見をいただきたいと考えています。</p>
委員	<p>資料の6に「学校間の距離」が示されていますが、これはあくまで学校間であって、この学校に通う子供たちの住居からではありません。やはり、1番遠くはどこからどれぐらいまでかかるのかというような、そういう資料もまた出していただければ一つの参考になるのかなと思います。例えば〇〇と〇〇の距離はどのくらいなのかが分かれば、〇〇小学校から〇〇小学校、〇〇小学校までの距離に加えて更に遠くなることが分かります。〇〇小学校に行くというわけではありませんが、参考にはなると思います。また、統廃合された地域で出生があれば当然統合先の学校に通うことになるので、そういった場合に必要になることも含めて資料として出していただければと思います。</p>
岩井課長	<p>本日の資料を作成するときに正にその話をしまして、係の者にちょうど今おっしゃっていただいたような〇〇から〇〇、又は〇〇地域、そこに大体どれぐらいの距離でどれぐらい通えるのかを拾い始めているところでございますので、また、次の折にはお示しできると思っています。</p>
委員長	<p>それぞれ意見もあると思います。よろしければ、〇〇委員から順番に一言お願いできたらと思います。</p>
委員	<p>私は、〇〇小学校、〇〇中学校を卒業し、小規模校で育った経験があります。それぞれ小規模は小規模の良さ、そして大規模校は大規模校の良さがあるし、大規模であろうと小規模であろうと、やはり地域の保護者の皆さんの協力がなかったら、学校は運営できないと考えています。〇〇小学校も来年度からは、</p>

	<p>今まで2クラス3クラスだったところがとうとう1クラスの学年が増えて、大きく学校の在り方が変わろうとしています。それぞれ小さな学校も、児童数の減少で学校のある姿が今と変わってくる、そういう時期なのかなと感じます。今回のこういった会議の中でそれぞれの地域のいろいろな方の意見をお聞きしながら、今現在ある学校の姿を私たち現場にいる者が今後につなげるよう参考にさせていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>今日この会に参加させていただきまして、あらためて保護者の方の学校への願いの強さ、地域の方の思いというか、すごく大きなものがあるということを感じています。〇〇中学校も現在クラス減になる、そのちょうど境目にあって、大きく変わろうとしています。生徒が減っていくということは、学校には非常に大きなことで、今直面していることでいえば、例えばもう部活動が組めない、本来のチームが組めないことです。教科も専門の教育の先生が全部はそろわない、あるいはクラスが減っていくと人間関係で悩んでいる生徒が次の年になったらクラス変更してまたやり直しができるところなのに、そういうメリットもできなくなりますので、いろいろ乗り越えなければならない課題が増えていきます。小規模校の良さ、大規模校の良さ、いろいろあるとは思いますが、そういったいろいろな課題にも直面しています。以上です。</p>
<p>委員</p>	<p>私の子供が〇〇小学校に通ってしまして、今は中学校に通っているのですが、保護者としてそのとき感じたのは、複式(学級)は子供たちにとってどうなのかなと思いました。先生はがんばっていても、同時に2学年をみることになるので、子供たちの学力面から考えると複式はどうなのかなと思ひまして、極力複式ではない方が良いと個人的には思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>私の出身校は、小学校は〇〇小学校、中学校は〇〇中学校でした。大人になったときにまさかこんなことになるとは思いませんでした。地域の方もいろいろとがんばっています。保護者もほとんど知っているメンバーで、地域の方も手助けしてくれますので、小規模校ですけれど恵まれているのかなと思います。時代ですので、こうやって統廃合の話が出ることは仕方がないのですが、1番は子供たちにとって1番良い形でそういうこと</p>

委員	<p>がなされればと思いますが、地域が寂しくなりますので、そういうことも考えていただければと思います。</p> <p>〇〇は少子化の折に段々と人数が少なくなり、やはり少人数になると子供の育ちにとっては多くの人間関係、大勢の中で関わるべきなのかというところは、日々考えています。そういった中で、地域もやはり大切だと思っています。今できることとしては、地域に出向こうと活動もいろいろ考えながらしています。縁ということを考えてと地域とともにという考えはあります。様々な教育の面と地域という面は、メリットデメリット、様々な点があると思いますが、今後においても、これから考えていきたいと思っています。</p>
委員	<p>私も、人数が多いところで育ったのですが、今日の資料を見ると本当に人数が減少しています。これから子供が増えるかどうかわかりませんが、今後、地域に学校がなくなると本当に寂しくなりますから、その辺りも今回のこの検討委員会の中で考えていただきたいと思っています。今後閉校となった学校、校舎をどういうふう利用するのかなど、また(校舎を)使ってもらような形を考えながら検討委員会の中で盛り込んでいただいて考えていけば、良い方向に行くのかなと思います。</p>
委員	<p>私は〇〇地区の出身でございまして、小規模校のメリットもあるのかなとは思っています。地域としましては、もちろん子供は地域の宝と申しますし、仮に廃校になれば地域の活力低下は否めないと思いますが、これからはやはり一定程度の人数は必要かなと個人的には思いますし、そこは児童生徒及び保護者の意向が最優先されるべきだと思っています。</p>
委員	<p>私は〇〇から嫁いできました。小学校は大きな学校で、中学校は父の転勤で小さな島の中学校に通いました。どちらにもメリットデメリットありましたが、私は小さな学校の思い出の方が印象に残っています。私は、かつて統廃合についての説明会には保護者として参加したことがありましたが、その時に、小学校は地域が寂れないように残してほしい、中学校はいずれは一つになっても良いのかなと思いました。でも、中学校が一つになると、先ほどの部活動のチームが組めないという話がありましたけれど、逆にライバルがいなくなるのかなと思いました。</p>

<p>委員</p>	<p>南郡で戦う相手がいないのも寂しいなと思いました。また、小さい学校には教頭や養護教諭の先生がいないということに驚きました。</p> <p>ずっと話を聞いていると、地域と保護者の目線の2点なのかなと思いました。やはり大事なのは、子供がどういうふうに育つのかであって、それは子供本人の意思と保護者の意思だと思います。地域が活性化しないという点については、地域が活性化する方に持っていけば良いのであって、そこはまた別の問題だと思います。もちろんそれは関係なくはないと思うので、気持ちには分かるのですが、大事なのは子供本人の意思と保護者、まずそこですよ。2040年には、愛南町は多分1万人くらいの人口に減るのは分かっているのですが、その後どうなるかは分かりませんが、愛南町が出している指針としては2040年に1万人という大体今の半分になるそうなので、(学校は)必ず統合するのでしょうか。そういうふうにはしか見えません。一人しか中学生がいない学校はあり得ないと思います。その試算でいくと、やはり中学校は一つだし、小学校も一つになるかもしれませんが、町長さんの話でいくと、教育にお金をかけるということですので、(統合しても)どういうふうに通うかという問題などは多分クリアされるだろうと思います。将来どこに学校があるかは別として、やはり学校は一つにならざるを得ないので、そのタイミングをいつに持っていくかというところなのかなと思います。提案としては、少なくとも今の中学生にアンケートで実際の状況を示して統廃合についての意見を聴きたいなと思います。自分たちが統廃合に向けて「やはり小規模校がいいよ」とか「(大きな学校に)なった方が良いね」とか、部活の問題などいろいろな状況というのは、やはり彼ら彼女ら本人が考えることなので、そこは尊重してあげるべきだと思いますし、その後地域意見などを考えるのかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>個人的な、率直な意見で大変恐縮ですが、子供たちの学校生活というのは、小学校の6年、中学校の3年間だけではありません。その後の高校生活3年間もあります。高校3年生までの12年計画で教育ができたなら個人的には思っています。統廃合は、もう仕方がないのかなと思いますが、やはり中学校での部活動の在り方であったり、小学校のスポ少の在り方であったり、その辺りをちょっと考え直していただいて、是非南宇和高校に</p>

<p>委員長</p>	<p>流れていくような形を作っていければ、愛南町も活性化するのではないかと思います。少なくとも残っていただける子供たちが増えるのではないかなと思っています。</p> <p>委員の皆さん、ありがとうございました。</p> <p>本日は、貴重な意見ありがとうございました。御意見は、今後の参考にさせていただきます。それでは、以上で全ての協議が終わりました。皆様御協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
<p>近田課長補佐</p>	<p>委員長、ありがとうございました。次回の検討委員会から、例えば各学校等の決算書の資料があれば良いなど必要な資料の提案がありましたら、気軽に事務局まで言っていただければと思います。</p> <p>(第2回及び第3回の開催日を調整し、第2回は令和2年12月25日(金)、第3回は令和3年1月28日(木)のそれぞれ19時から開催することを決定)</p>
<p>近田課長補佐</p>	<p>それでは、閉会挨拶を中村教育長が申し上げます。</p>
<p>中村教育長</p>	<p>(閉会挨拶)</p>
<p>近田課長補佐</p>	<p>以上をもちまして第1回愛南町学校統廃合検討委員会を閉会します。</p> <p>本日は大変お疲れさました。</p>